

令和5年度 江戸川区立中小岩小学校 人権教育年間指導計画（第2学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育にかかわる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、2学年としての望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。 言語環境を整え、教育環境の整備を図る。				一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。				この1年間での自他のよさの伸びや高まりを実感できるようにする。		
各教科 読書科	国語「えいっ」場面や登場人物の様子を読み取り、思いを受けとめて読む。	国語「続けてみよう日記」 作文を友達と読み合い、よいところを見付け合う。	国語「きつねのおきゃくさま」 人を信じ、明るく接することの大切さを読み取る。			国語「うれしくなる言葉」 言葉の使い方によって、相手の心を温かくする言葉があることを知る。		国語「かさごじぞう」 じいさまとばあさまの温かい人柄に触れ、絵を描き、紹介する。		国語「じゅんじょに気を付けて書こう」 友達の作文を読み、感想を伝え合う。	国語「アレクサンダとぜんまいねずみ」 人物の心の触れ合いを読み取る。	
	体育(走・跳)「リレー遊び」 公平・協力の態度を身に付ける。	音楽「ドレミの歌」 階名に合わせて友達と楽しく身体表現をする。	読書科「やさいはかせになろう」 友達のまとめた作品を見合う。			図画工作「ひみつのたまご」 自分たちが作った紙粘土を使って、自分や友達の表現のよさを認め合う。				昔話の読み聞かせクイズ大会を開く 作品を読み合い共感する	音楽「音楽を楽しもう」 発音や声の出し方に気をつけ、みんなで歌う楽しさを味わう。	
道徳		規則の尊重 人間関係作りにおいて、きまりを守って、生活しようとする。		正直・誠実 嘘をついたり、ごまかしたりせず、正直に生活しようとする。		友情・信頼 友達の気持ちを考え、互いに理解しながら生活しようとする。	親切・思いやり 人に対する親切心や関心を持ち、温かな心で接しようとする		よりよい学校生活 自・集団生活 学級を大切に、よりよい学級にしようとする。	感謝 日頃、お世話になっている人に感謝の気持ちを表そうとする。		国際理解 他国に対する理解や親しみをもとうとする。
生活科	一年生をむかえよう 友達や1年生と一緒に学校探検をして、優しく接しようとする。		どきどきわくわく まちたんけん 地域で働く方にインタビューして、素敵などところを発見する。			しぜんともだち サツマイモやミニトマトなど、育てた野菜の収穫し、紹介するとともに、深める。		遊びのひろば 手作りおもちゃ作り、おもちゃ紹介をするとともに、1年生と交流する。				明日へジャンプ 成長のアルバム「大きくなったね」 赤ちゃんの世話体験や成長の聞き取りを通して、自分の成長を実感し、友達と共に成長を認め合い、喜び合う。
特別活動	学級活動 自分や学級の目標を設定し、望ましい人間関係を考える。		運動会 協力し合って演技をする。友達を応援する。				ユニセフ募金 互いに助け合うことの大切さに気付く。		学校応援団給食 お世話になっている地域の方々に感謝の気持ちをも	展覧会 友達の作品のよさや工夫を認め合う。		6年生を送る会 学級活動 自己の成長を確認し、進級に向けて、新たな目標を考える。
	仲良し班活動 異学年交流を深め、仲良く遊びながら、お互いを認め合う。											
その他		みどり学級との交流				みどり学級との交流						

「 」 = 個別的な視点からの取組（「 」内は人権課題） ↔ = 関連的な指導 = 「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導